

## 令和5年度 壬生町防災講演会アンケート結果 (138名/170名) 回答

1 実際に大規模な災害が発生した場合、どの様なことを不安に感じますか。(複数選択)

1	家族との連絡手段	62 件
2	一時避難所先の確保	53 件
3	自宅の耐震性	59 件
4	初期消火	53 件
5	負傷者・病人の病院	27 件
6	避難所での生活	69 件
7	食料・常備薬	53 件
8	電気・ガス・水道	76 件
9	特になし	0 件
10	その他	2 件

2 様々な災害に備え、日頃からどの様な対策を取っていますか。(複数選択)

1	防災について家族で話し合いをしている	51 件
2	災害時どこに避難すればよいか知っている	96 件
3	災害に応じた避難場所まで安全な避難ルートを複数確認している	37 件
4	非常用持ち出し品・備蓄品を用意している	66 件
5	毎年、地域の防災活動に参加している	55 件
6	近所の人と交流し、非常時のことについて話をしている	24 件
7	特に取り組んでいるものはない	16 件
8	その他	1 件

3 自助・共助・公助について伺います。

1	自助について				
理解している	117	理解していない	9	言葉を知らない	0
2	共助について				
理解している	117	理解していない	9	言葉を知らない	0
3	公助について				
理解している	110	理解していない	15	言葉を知らない	1

4 災害発生直後の災害対応（救助・がれきの撤去など）をどの団体や人に期待しますか。（複数回答者あり）

1	自主防災組織（自治会）	67 件
2	消防署	25 件
3	消防団	28 件
4	近所の人	43 件
5	友人（ボランティア）	13 件
6	職場の人	1 件
7	特になし	5 件
8	その他	自衛隊 5 件

5 その他の意見 (一部)

1	<p>壬生町の現状をおりませながら、お話していたので具体的「自分事」として拝聴することが出来ました。</p> <p>あれもこれも完璧な自主防災組織を目指すのではなく、今できる事をやる、そこで止まっても良い、またできる時が来たら、またやれば良いという言葉が背中を押される思いでした。</p>
2	<p>何よりも人命救助が大切です。住宅用火災警報器を設置したいと思いました。</p> <p>坂口先生のお話はとてもよく理解できました。ありがとうございます。</p>
3	<p>自主防災組織の重要性を再認識したが、結成の難しさも改めて感じた。</p> <p>会員との重要性に対する共通認識を持つ。</p>
4	<p>人が人を助けて行ける防災のまちづくり壬生を目指していくために。</p> <p>① リーダーがいて協力する住民がいる。</p> <p>② 地域の方とコミュニケーションを図るための防災訓練の継続的实施。</p> <p>③ 自治会は、消火、救出救護、避難誘導をやらなければならない。</p> <p>講師の坂口先生は、自らの経験をもとに講演をして頂き、我々の自主防災組織としても、役に立つ内容であり、参考になった。</p>
5	<p>自主防災組織にて毎年2回活動しているので、意識はしています、坂口先生のお話は分かりやすく初期消火の大切さ、安否確認が出来るか出来ないかが、一つのポイント日頃からリーダーの育成、支える人の育成。今日の話は自治会に持って行き発信し、協力して行きたいと思いました。</p>
6	<p>防災について、自分たちのみでなく多くの方に知ってもらい、動ける人材育成をすることが大切だと思いました。</p> <p>現在学校の役員を務めています、坂口先生のお話にあった中学生を対象に話をしたり、何かしてきたいと思う気持ちがありますが、どうすれば話す機会を作れるか分からず実現できないので残念だなと思います。東日本大震災後に生まれた「海なし県」の子供たちに地震だけでなく、「つなみ」に関する知識もつけてあげたいです。</p>
7	<p>毎年、日本のどこかで災害が発生しており防災の意義が大切になってきていると思います、しかしながらどうしても他人事という部分も出来てしまい、取り組みが甘くなってしまう自分がいるように思われます。今回の講演会を</p>

	拝聴し、もう一度取組方、考え方を換えようと思いました。
8	大規模災害の起こる地域ではないという認識でいましたが、自然災害はどの地域でも起こる可能性があるので、そのために自主防災組織の大切さを考える機会になりました。名ばかりの防災士でなく防災リーダーとなるべく、自分でできる事をやっていければと思う。
9	自分自身を守るための防災として、少し離れている子供たちと話し合うことを考えています。我が家の班は80歳以上の老人ばかりなので、まずは班の人の安否確認を行いたいと思います。
10	具体的なお話で、分かりやすかった。自分のできる事を見直してみます。常に人の話（意見）を聴く耳を持たなければと思います。
11	地域住民の高齢化に伴い災害発生時（自助、共助）、現実問題として難しい事が多く発生するのでないか。地域住民全体の災害に対する知識、行動をどの様に、同じレベルにしていけるか。
12	とても具体的で理解しやすかった。訓練に参加してバケツリレーの訓練に参加したが、本当に効果があるのか疑問であったが、事例を聞いて納得しました。 とても良い講演でした、沢山の学びがありました。ありがとうございました。
13	具体的にどうしたら良いのか、何をしたら良いのか、良くわかる講演だった。 安否確認、呼びかけ、協力の必要性が良く分かった。
14	とても分かりやすいお話でした、改めて勉強になりました。壬生町の自主防災組織は100%と思っていたところ44%と知りショックでした。自治会も高齢の方が多いですが、地域ぐるみで考えなくてはと強く思いました。
15	忘れていたことを思い出させて頂き、今一度振り返って見直し、考えなおして活動して行こうと思いました。
16	自主防災の必要性を改めて思った。
17	防災体制について、自助、共助については自己の努力で良くなると思います。しかし、復旧に関しては地元消防団に頼らざるを得ないと思います。自主防災組織と消防団との密な連携を考えてほしい。
18	自治会の防災活動の重要性を理解した。自分たちの自治会は自分たちで守るお認識し今後の活動を進めたい。 年1回の防災訓練を実施しているが防災役員のみならず、青年部、育成会等に気軽に参加できるようコミュニケー

	ションを取り、参加できるよう環境づくりを考えたい。
19	現住所に住んで50年、高齢者中心の地域となり、共助がだんだん難しくなりつつある、若い力をどう確保するかが課題。
20	とても参考になりました。自分で出来ることは何か、改めて考えさせられました。
21	とても素晴らしい講演でした。他の地区の例を上げてくださったことが参考になった。 1番心に残ったのは「避難者はお客様ではない」という言葉です。一人一人が何をすればいいのか考えさせられた。
22	実例を交えての、とても分かりやすい講演でした。今後若い世代を巻き込む活動を展開したいと思います。
23	共助の重要性を再認識した。防災講演会等地域の行事に積極的に参加して意識を高めたい。 支援する側になりたい。
24	近所のつながりが少なくなっている中、人が集まらなく隣人の顔もわからない状態です。 講演会は、具体的な事例をあげられ、非常にわかりやすくて良かった。
25	とても分かりやすく、いいお話でした。役員だけではなく一人一人の自覚が大切。 避難者はお客様ではない。
26	防災リーダーとして、自分の役割を再認識した。
27	非常時を想定した日頃の訓練の大切さを実感した。 行事等をとおして隣近所、地域のコミュニケーションを良くする。リーダーの大切さ、協力する心。 互助、共助について理解がある程度できた。自主防災組織の具体的な取り組みを知らなくては（早急に）
28	避難所の開設は誰がやるのか、町ではなく我々の自治会自体がやらなくてはならないこと、自覚しました。
29	説得力のあるお話、明日からでも役に立つお話で、今日来られなかった自主防災会メンバーに是非聞いてもらいたかったと思います。自治会の総会や自主防災会の集まりで今日の話伝えていきたいと強く思った。
30	自治会等の災害対応の重要性が良く理解できました。自主防災活動の定期的な活動。近所の人との交流をとおり非常時の事について話し合う。 避難所においてお客様にならない。できる事から少しずつ地域の皆様と取り組んでいきたい。

31	具体事例をあげて説明されたので、自主防災組織の必要性をより身近に感じる事が出来た。 自分の地区では、まだ、取り組み不足だと思った。
32	私の自治会では、行き詰ってストップしています。先生の言うとおりにできる事から活動します。
33	とてもためになる内容が多かったです。抱えている問題点を自治会等で検討出来ればと思います。